



鉄建 NEWS

令和7年10月31日発行 第371号

入社して半年たちました！

入社してから半年は長いようでとても短く感じました。入社当時は何の材料を見ても、同じものにしか見えませんでした。ですが毎日鋼材センターで先輩方に1つ1つ丁寧に教えてもらったおかげで、ある程度の材料を覚えて、荷作りも少しずつ出来るようになりました。

鋼材センターではお客様への対応の仕方も教えていただき、少しずつお客様への対応も出来るようになりました。鋼材センターでの研修期間でたくさんの方から丁寧に教えていただきました。鋼材センターの方々にはとても感謝しています。

さらに入社してから再確認をすることの重要性に気づきました。1回の確認だけでなく2回3回確認することでミスをする回数を減らすことができました。

10月からは本社に異動になり、また何もわからないところからのスタートですがいち早く仕事を覚え、立派な営業マンになれるように頑張ります。

金属部 森浦 直也

入社して半年が経ちました。入社当初はお客様との電話対応に慣れず、材料も分からない、聞き取るのも一苦労、自信がないなどとても怯えながら対応してしまっていました。

ですが、先輩方に分からないところがあれば教えてもらい、お客様や仕入れ先の方と話す際は相手の方が優しく詳しく教えてくださったおかげで、とても勉強になり電話も聞き返すことが少なくなり材料も少しずつ分かるようになってきて、入社当初と比べると成長したと感じることが増えました。

現在自分に出来ることが少なくて色々な方に迷惑ばかりかけてしまっていますが、自分ひとりで自信をもって取り組める仕事を見つけ、早く皆さんの役に立てるように努力していきたいと思っています。

建材部 野村 茜花

入社したての頃は、与えられた仕事を淡々とこなしているだけでしたが、半年間で仕事の大体の流れがわかるようになり、自分なりに行動できるようになりました。

また、仕事に優先順位付けができるようになり、計画的に業務を進められるようにもなりました。

鋼材センターで培った仕事を効率的に進める能力を本社勤務でも活かし、さらに複雑な業務にも落ち着いて対応していきたいと思っています。

建材部 福原 翔斗

入社して半年が経ちました。

これまでの営業経験から出来る業務もありましたが、この半年で正確さ、スピードもより必要だと感じました。

また、周囲とのコミュニケーションを大事にし、報告、相談を工夫することで安心して任せて頂けるよう精進していきます。

この半年間の反省として自分からもっと学ばず姿勢、改善点を考え提案するなど、受け身ではなく一歩踏み込んだ姿勢が足りないと感じましたのでそこを伸ばしていきます。

まだまだ伸ばし足りない部分はありますが、これまでの積み重ねを力に変えて、より成果に繋がる動きを目指していきます。

建材部 平井 利樹

先輩からのメッセージ

森浦くんが入社して半年が経ちました。初めは慣れてないことだらけでしたが、率先して動いてたので慣れるのも早かったです。一緒に配達行った際には自ら重いものを持ちとても助かりました。

本社に行っても率先して動き、早く一人前の営業マンとして活躍できるように頑張ってください。

センター 村田 祐基

建材部は工事、板金部門と全く異なる作業方法で、また其々に内容が複雑な所があり悪戦苦闘してる所ではありますが、ゆっくりでも着実に昨日を超える自分になっていると思います。

一人で出来る事が一つ、また一つと増えた事に關しては、率先して仕事を引き受けてくれるその気持ちが嬉しいい～(≥▽≤) 人に伝えるのって難しいい(ノロ)ｼｸｼｸ…

共に楽しく成長していきたいよう～
建材部 杉山 理恵

福原君が入社して半年、構内作業と配達の助手で毎日頑張っていました。福原君とは配達で人手がいるときに一緒に行っていました。一番印象に残っているのは、板金屋さんに行くときに、0.35×914、20mの小コイルを持ち上げる事が出来なくて、苦労して運んでいたことです。

半年たった今では、スムーズに持てるようになりました。10月から本社勤務になり、淋しくなりますが頑張ってください。
センター 亀田 裕介

入社半年たって成長したところというお話をもらいましたが、平井君は新社会人ではないので彼の優れたところを紹介します。

・前職の経験を活かした専門知識とコミュニケーション能力での営業力

・些細なところも感じ取る気遣い力(昼ごはんをおごったら必ずコーヒーをくれるなど)

・目を見張る社員とのコミュニケーション(主にイジられ力)

今後は更に自分をアップデートして建材課の一員として活躍してくれることを期待しています。

建材部 伊藤 亮太

ソフトボール大会

入社して2回目のソフトボール大会に参加しました。

元々ソフトボール自体やったことがなく、ルールがあいまいなまま2回とも選手として試合に参加しました。去年の試合は一打席だけ出たのですが、悲しいことにフライで終わってしまい試合も一回戦で負けてしまいました。

終わってみて意外と淡々と進んでいくのだなと思いきや正直なんともいえない感じでした。

今年のソフトボール大会では3位になることはできたのですが、僕自身二打席出てどちらともフライでおわるという相変わらずの内容で他の選手のみなさんはしっかりと結果をだしていてめちゃくちゃ熱い試合をしていたので、盛り上がりました。

来年は僕も結果を残して優勝できるよう頑張りたいと思います。

センター 中塚 光輝

🍻🍻🍻🍻🍻ソフトボールの反省会もありました！🍻🍻🍻🍻🍻



ふわふわの毛並みが自慢の2匹のポメラニアンが並んで座る、とても可愛らしくそれぞれの個性が光るお気に入りの1枚です。

左の子は穏やかな表情、右の子はニコニコ笑顔で、対照的な姿が微笑ましくお家でのんびりくつろぐ仲良しな2匹の姿に家族も思わず笑顔に。



日常の小さな幸せを届けてくれる、家族の癒し担当です。

HIT
成田 智裕

テニス・ルヘインさんの小説



「シャッターアイランド」を読みました。

この小説は映画にもなっていて、私は先に映画を見ていたのですが、本で読むとではまた違った面白さがありました。

物語は、連邦保安官のテディが相棒とともに、孤島にある精神病院で起きた患者失踪事件を調べるところから始まります。嵐で島に閉じ込められたり、調べるうちに島の環境や病院の裏側が怪しく見え、どんどんテディの過去や記憶も揺さぶられていきます

不気味な雰囲気の中で真相に迫ってくるのですが、読み進めるほどに何が本当なのかとわからなくなる展開が続き、飽きずに楽しみながら読むことができました。

映画版は映像と音楽で一気に緊張感を盛り上げ

てくるのに対して、小説はテディの心理描写が細かく書かれており、じわじわと不安や謎が積み重なってく感じがありました。

ラストの展開は映画を見たことがあるので知っていましたが、小説ではまた

違った角度から物語を読めて改めて衝撃を感じました。

サスペンスドラマとしても人間ドラマとしても楽しめて、見たことない方にも、映画を見たことがある方にも是非お勧めしたい一冊でした。

金属部 村瀬 茜音

最近、+管内ですがよくドライブをします。今までは目的地を決めて最短距離で車を走らせていましたが、目的地を決めずに行ってみたり、目的地までの道をいつもと違う道で行ってみたりなど近場のドライブでも初めての場所に来たような新鮮な気持ちになります。これから雪の季節になるのであまりドライブはできなくなりますが、紅葉など短い秋を安全運転ドライブで楽しみたいと思います。

ただ

編集後記